



でもわかる!

森林GIS入門

ArcView版基礎編

その4

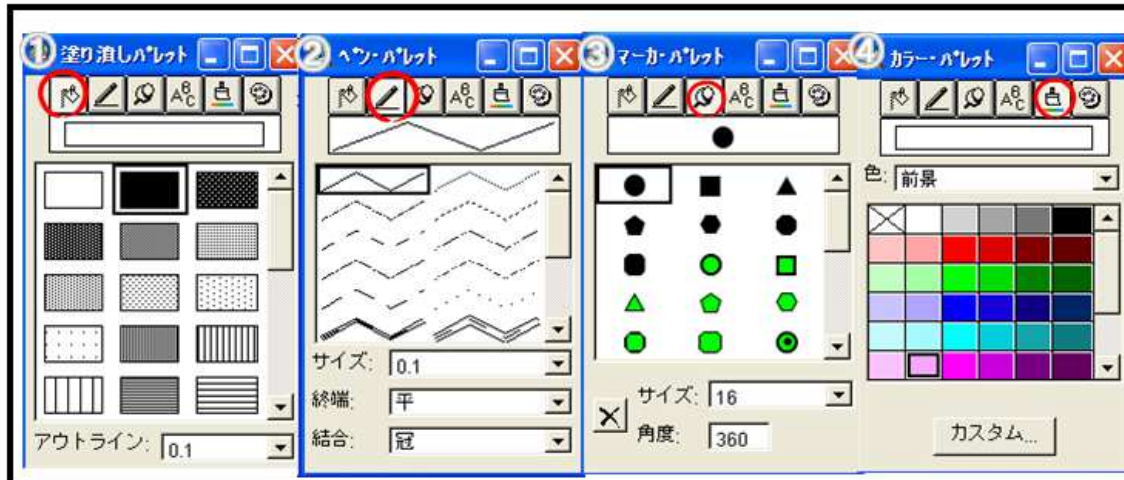
シェイプファイルの操作3



前回の結合済みデータから説明します。
 まずは小班をダブルクリックして凡例エディタを開き、シンボルをクリックします。パレットが表示されましたね。パレットのアイコンをクリックすることで、内容を色々と変更できます。



こんにちは
 今回も頑張り
 ましょうね。



これがよく使う
 代表的な4つの
 パレットです。



ガスガスしてたら
 どんどん
 置いてくよ

やろん
 抜かないで

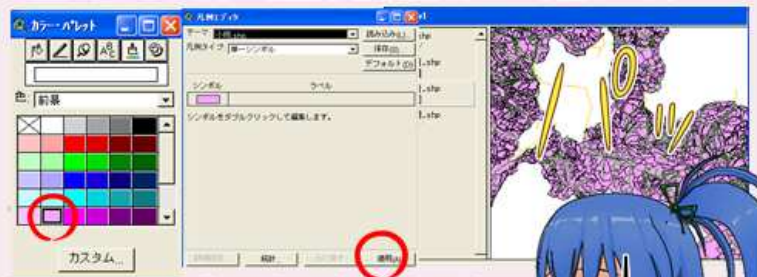
それ
 カキヤ
 カキヤ
 カキヤ



あ！
 思いついた！
 ピシッ！

★説明★

- ①塗り潰しパレット
 塗りつぶすパターンを変更出来ます。普通はベタ塗りですが、斜線や点々なども選択可能です。
- ②ペンパレット
 ライン（線）の太さや種類を選択できます。
- ③マーカパレット
 ポイント（点）の大きさや種類を選択できます。
- ④カラーパレット
 塗りつぶす色を選べます。左上の×は透明色です。これを選択するときは、一度違う色を選択してから選んでね。



それでは、実際に色を変更してみましよう。
 カラーパレットから好きな色を選んで凡例エディタの適用をクリック。小班の色が変わりましたね。
 もっと色々やってみましよう





それでは、もっと色々な色を実際に表示してみましようね。

凡例エディタ

テーマ: 小班 sho

凡例タイプ: グラデーション

分類フィールド: グラデーション

正規化に使用: ドット

値フィールド: なし

シンボル: 公益事由3

シンボル: 発生年度

シンボル: 植樹樹種

シンボル: 小流域

凡例エディタの凡例タイプを個別地分類にすると、値フィールドが表示されるので、結合されたsyohan.dbfの植樹樹種を選択してみてください。

色のついたシンボルがが沢山表示されましたね。適用をクリックすると小班に色が反映されます。



「抜かれるなら「度肝」が良いよね！」

開き直り〜

バイトニー・ラズロ

こみぼちゃん……

シンボルの色は、数値毎に自動的につきますが、パターンを変更する場合は「カラー・ランプ」を変えることで、簡単に各種パターンへ変更できます。

また、それぞれの色を変更する場合は、変えたいシンボルをクリックすることで、好きな色にすることが出来ます。

がんばってね〜

ヒントです。樹種コードの天然林は「0」、人工林はそれ以外です。

それでは問題です。樹種コードを利用して人天別に色分けしてみてください。



プロジェクトファイルに保存しておいてね。

シンボル	値	ラベル	カウント数
	0, 5, 17, 18	0, 5, 17, 18	5185
	23 - 27	23 - 27	8
	64	64	3
	88	88	18

まとめて表示したい場合は、値に直接数値を入力することも可能です。

<例1>
0と5と17と18を纏めて表示したい。「0, 5, 17, 18」とコンマで区切る。

<例2>
23から27までを纏めて表示したい。「23-27」と-で区切る。

注：数値の場合のみ可能

「+」と「-」は項目の追加と削除だよ。